

令和4年度北信越 ブロック女性農業委員 研修会に参加して



農業委員
酒井 美奈子

11月21日、長野県長野市若里市民文化ホールにおいて、令和4年度北信越ブロック女性農業委員研修会が開催され、北信越ブロックの女性農業委員と最適化推進委員92名が参集し、五泉市からは5名の女性農業委員が参加しました。

視察先の若穂地区では、りんご産地再生の取組みや農地盤整備が行われていました。視察場所は、土地が狭く傾斜地で作業がしづらい中山間地域です。担い手が高齢化し、後継者がいない耕作放棄地が増えてきたことにより、農村集落の存続が危ぶまれる状況が10年以上続いていたそうです。

実際の取組みとして、農業委員・推進委員と地域住民、地権者、耕作者、担い手が動き、それから農協と農林課、国が加わり、説明会や懇談会等の話し合いを複数回行い、小区画を集約・大区画化して、高生産性果樹団地を目指すができたそうです。整備された土地には、りんごの苗木がたくさん植えられました。

研修後、先人が耕作してきた大切な土地を次の担い手に動かしていくことも、農業委員の大切な仕事だと思われました。当日は、往復の時間を利用して参加した皆さんと交流でき、有意義な研修でした。

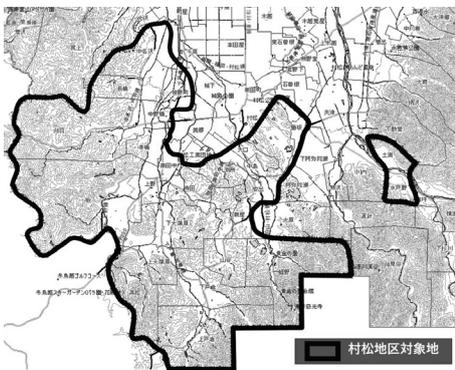


非農地通知書の 発送について

農業委員会では、中山間地域の農地のうち、その土地が森林の様相を呈しているなど農地に復元するための物理的な条件整備が著しく困難な場合、荒廃農地に分類し、「非農地」として、管理している農地台帳から除外する作業を年次計画で進めています。

今年度は、村松地区で山林化した農地を農地台帳から除外します。

対象となる土地の所有者には、2月上旬に非農地通知書を発送しますので、ご確認ください。



農地集積・集約加速化 支援事業を「存じ」 ですか？

五泉市農業委員会では、「実質的な人・農地プラン」を策定した地区の中心経営体が、農地を集積（購入・貸借）した場合、集積面積に対して1反当たり5千円を補助しています。

本年度の補助事業の対象は、令和3年度に「実質的な人・農地プラン」を策定した地区の中心経営体となります。

詳しくは、農業委員会事務局までお問い合わせください。

